

# 国道139号 朝霧さわやかパーキング前 交差点改良

## ■地元の声■

朝霧さわやかパーキング前交差点は、富士丘区と富士宮市街地方面をつなぐ経路上にあり、牛乳・農産物の出荷、日用品・食料品の調達、また、通勤や通学のため富士丘区民が頻繁に利用する生活道路として大変重要な交差点であります。これまでの観光道路に加えて産業道路としての機能も併せ持ってきた国道139号の交通量が年々増加し、区民の安全確保を懸念していた中、今般右折レーンが設置されたことは大変喜ばしい限りであります。

また、今夏、朝霧高原で開催予定の第15回日本ジャンボリー(※1)や富士山世界文化遺産登録活動等により、今後増加が予想される観光客を迎えるのに必要な環境整備の一つとして期待していた右折レーンの完成を受け、朝霧高原の一角に位置する富士丘区としても、これまで朝霧地区景観形成ワークショップ会議(※2)等で培ってきた国を始めとする行政との相互理解の関係を維持しながら、より一層地域の振興に取り組んで参りたいと考えております。

(静岡県富士宮市) 富士丘区長

### ※1 第15回日本ジャンボリー

日本ジャンボリーは、日本国内における青少年による最大の国際キャンプ大会。昭和31年の第1回大会から4年を周期に開催。今回の第15回大会は「世界に向かって でっかく羽ばたけ!」のテーマの下、青少年が、世界文化遺産登録を目指す霊峰富士山麓の豊かな自然の中で、キャンプ生活を通じて協調性を養うとともに、様々な活動、とくに環境や健康の諸問題に関するプログラムをとおして持続可能な社会を共に考え行動する機会となるよう開催される。

【開催期間】平成22(2010)年8月2日(月)～8日(日)

【会場】静岡県富士宮市朝霧高原

【主催】財団法人ボーイスカウト日本連盟

【参加人員】小学校6年生～高校3年生年代のボーイスカウトを中心に2万人規模

### ※2 朝霧地区景観形成ワークショップ会議

富士宮市朝霧高原では、平成18年1月に地域住民、企業、行政などでワークショップ会議を立ち上げ、沿道景観の保全・改善による「美しい景観づくり」や道を通じた「地域の魅力発信」について、検討や実験の活動を重ねてきました。

【朝霧地区景観形成ワークショップ会議構成員】

地元自治会、観光事業者、NPO等活動団体、静岡県、富士宮市、国土交通省静岡国道事務所

<朝霧地区景観形成ワークショップ会議 お問い合わせ先>

富士宮市都市整備部都市計画課 主幹兼計画係長 大畑 宏之 または 主任主査 土屋 洋一

電話(0544)22-1166 ファックス(0544)22-1208

(「朝霧地区景観形成ワークショップ会議」は、日本風景街道「ぐるり・富士山風景街道」の一環でもあります。

「ぐるり・富士山風景街道」→ <http://gururi-fujisan.net/>)